

# 本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-EVT/SHD)

## 参加説明書

### 1 研究の対象

柏市立柏病院において末梢血管インターベンションを施行した患者さん

### 2 研究目的・方法

カテーテルを用いた心血管インターベンションは、末梢動脈疾患、先天性心疾患、肥大型心筋症の治療法として重要な位置を占めています。しかしながら、国内においてその実態を正確に把握できる資料は現存せず、年間施行症例数、手技成功率、合併症発生率などを正確には把握できない現状です。

現在、国内における心血管インターベンションの全容を正確に把握するために「日本心血管インターベンション治療学会」では実態調査を行っています。

柏市立柏病院では、より安全で効果的なカテーテルを用いた末梢血管インターベンションを患者様に提供すべく、この調査に参加します。

### 3 研究に用いる試料・情報の種類

○患者情報：初回登録日、院内管理コード、性別、生年月日、年齢

○手術・インターベンション情報 術前情報：併発疾患、EVT/SHD 施行日、第一術者医籍番号、指導医籍番号、EVT のステータス、透視時間、造影剤使用量、手技に関する合併症 (院内死亡、輸血を必要とする出血性合併症、緊急手術、末梢塞栓、血管破裂、急性閉塞、造影剤腎症、その他)、今回入院に至った診断名 (J-EVT/末梢閉塞性動脈疾患。頸動脈狭窄、腎動脈・腹腔/腸間膜動脈狭窄、シャント不全、J-SHD/弁膜症、心筋疾患・肺高血圧、先天性心疾患)、今回入院に至った診断名詳細 (無症状、間欠性跛行、重症虚血肢、急性下肢虚血、症候性、無症候性、2 次性高血圧、虚血性腎不全、紡錘状、嚢状)

○手術・インターベンション情報 術中情報：施行治療手技 (EVT/末梢閉塞性動脈疾患、右 EVT (腸骨動脈・大腿動脈・膝下動脈・鎖骨下動脈)、左 EVT (腸骨動脈・大腿動脈・膝下動脈・鎖骨下動脈)、PTA (大動脈・その他の動脈)、腎動脈狭窄、右 PTR (腎動脈)、左 PTR (腎動脈)、腹腔・腸間膜動脈、頸動脈狭窄、右 CAS (頸動脈)、左 CAS (頸動脈)、シャント不全、シャント (PTA)、J-SHD/弁疾患、PTMC (僧帽弁)、BAV (バルーン大動脈弁形成術)、PTPV (バルーン肺静脈弁形成術)、BPA (バルーン肺動脈形成術)、MV Clipping (僧帽弁)、心筋症・肺高血圧、PTSMA、CTEPH)

### 4 外部への試料・情報の提供

NCD データベースシステムを利用して末梢血管インターベンションのレジストリーを構築し、当院で施行した末梢血管インターベンション全症例の入力項目をデータベースに

登録します。データ登録は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5 研究組織

日本心血管インターベンション治療学会の会員施設（約 1,000 施設）

6 お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

柏市立柏病院循環器内科 小林 和 郎

〒277-0825 千葉県柏市布施 1 - 3 Tel 04-7134-2000 (代)